

地域支援だより

平成23年12月16日

第19号

秋田県立秋田きらり支援学校
地域支援部

きらりNet

きらり支援学校のキャリア教育について

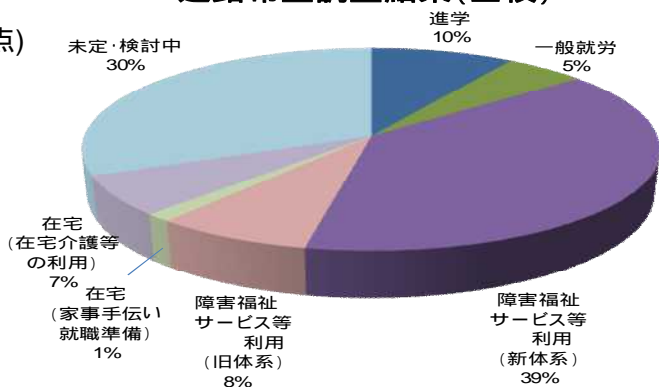
進路希望調査から

右のグラフは本校の進路希望調査（23年6月時点）の結果です。障害福祉サービスの利用希望、進学、在宅の順に多く、幅広い進路希望が特徴といえます。

ワークキャリアとライフキャリア

キャリア教育の視点からみると、本校の場合は就労に向けてキャリア教育の四つの能力を積み重ねていく「ワークキャリア」の形成とともに、一人ひとりが人生のそれぞれのステージで社会的役割を果たしていく「ライフキャリア」の視点が必要と考えています。今後、各学部で、各学習集団で「ワークキャリア」と「ライフキャリア」をキーワードに取り組みようと考えています。

進路希望調査結果(全校)



中学部・高等部での作業学習と実習の取り組みについて

中学部

卒業後の進路への興味や関心をもつために職場見学を行っています。今年度は「秋田ワークセンター」を見学しました。また、毎週行われる作業学習や2日間集中して行った校内実習では、油吸い取りパック「油グッバイ」の製作と販売を行いました。働くことを体験し、身近に考える経験を積み重ねています。



高等部 【作業学習 1～3年 1組のみ履修】

15名の高等部生が週2回計4時間、「KIRARI」の社員として軽作業班と農園芸班の2部門で取り組んでいます。「安全、協力、笑顔」の社訓のもと、お客様の喜ぶ製品作りと販売のために自分の役割を果たす中で、一人ひとりのライフキャリアの形成を目指しています。

【前期実習 6月20日～24 後期実習 11月14日～18日】

校内実習(前期のみ)では、リサイクル、縫製、軽作業、障害福祉サービスの日中活動の体験などを行いました。現場実習・見学・インターンシップは、生徒の希望により実施します。生徒が希望する業種・職種での業務や福祉サービスを見学・体験する貴重な機会となっています。前後期をとってお世話になった事業所は以下のとおりです。

現場実習 【利用体験】	見 学
<p>障がい福祉センター-聖和、虹のいえ、秋田県立医療療育センター、高清水園、虹のいえ、かつの悠遊工房、さくら園、やまばと</p> <p style="text-align: center;">現場実習 【就労体験、実習】</p> <p>スーパーセンターアマノ御所野店、基準寝具、テックランド秋田店、いとく新国道店、ピフレ湯沢店</p>	<p>こさかわいらいセンター、桐ヶ丘、秋田県立医療療育センター、更生訓練センター、小又の里いなほ作業所、あきた病院、ドリームカパニ-あゆみ、つどいの家、手形ハウス柏の郷、ぱあとなあ、愛光苑</p>

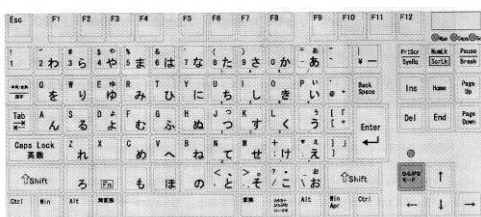
受け入れてくださった事業所の皆様、本当にありがとうございました。

秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。

連載 本校の授業の様子から

50音配列のキーボードの使用(小学部)

本校の小学部では、国語等の学習で、書字に時間がかかる児童に対して、コンピュータを使用し学習することがあります。しかし、一般のコンピュータのキーボードではひらがな入力で打ちたい文字のキーを探すのに時間がかかってしまうことがありました。そこで、50音順に配列されたキーボードを使用することで、短時間でより多くの文章を打つことが可能になりました。このキーボードは、パソコン本体のUSBポートにつなぐだけで、自動的に認識されてひらがな入力が可能になるものです。本校では、平成23年4月から使用している児童がおり、ひらがな一文字ずつの入力に加えて、濁点や半濁点、句読点の入力もスムーズになってきました。このような配列のキーボードは幼児や知的に障害のある児童生徒にとっても、コンピュータを使用して学習する際に有効な支援ツールとして力を発揮してくれると考えられます。



キーボードのキー配列



キーボードをパソコンにつないだ所



本校児童が使用している様子

シリーズ医療療育センターとの連携

連携ケース検討会

本校は、秋田県立医療療育センターと隣接しており、さまざまな形で連携を図っています。今回は、その中の連携ケース検討会についてご紹介します。

連携ケース検討会は、医療療育センターに入所している児童生徒について、センターと学校の職員が、児童生徒の課題や情報を共有する目的で行っています。出席者は、センターから、医師、看護師、リハビリ担当者、保育・育成科職員、学校からは、児童生徒の担任と校内コーディネーターまたは学年主任となっています。月1回のペースで、1回につき児童生徒5～6人を抽出して行っています。

治療やリハビリの方針、生活面や学習面での留意事項などについて共通理解を深めるとともに、進路に関する情報交換なども行われます。

短時間ではありますが、一人一人の児童生徒について考える有意義な検討会になっています。



秋田きらり支援学校に相談・見学の希望がありましたら、下記までご連絡ください。



教頭 初山 節子 地域支援部 遠藤 美和子

住所：〒010-1407 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢3番127

E-mail：kirari-s@akita-pref.ed.jp

電話：018(889)8573 FAX：018(889)8575

次号は2月10日発行予定です。